

大健闘の中巨摩新人大会

気温の寒暖差が激しくなってきました。秋が少しずつ深まっていくのを改めて感じます。さて、10月7日(水)放課後には、放送で中巨摩新人大会の壮行会を行い、各部代表からの新人大会への決意表明がありました。どの部の代表も素晴らしい発表でした。3年生からバトンを渡された1, 2年生が、3年生から直接や間接的に、これまで教えてもらったことを思い出しながら、練習の成果を大会で発揮してほしい、また、大会ができることへの感謝の気持ちを持ち、自分自身にできる感染対策を行いながら大会に臨んでほしいと私からはお願いしました。さらに試合には『集中力と闘争心』を持つことが必要です。同じ練習をしていますが、この二つを持っているのと持っていないのとは大きな差がでます。大会では、これらのことを意識しながら、各部とも最後まであきらめずに頑張ることができていました。その結果、多くの部が県大会への切符を勝ちとっていました。さらに県大会でも健闘を期待しています。

令和2年度 中巨摩新人体育大会 結果一覧 令和2年10月9日(金)、10日(土)、11日(日)

部 名	結 果
野球部	Cパート優勝・県大会出場 御勅使・田富vs櫛形 5-4
サッカー部	vs玉穂 0-1 vs玉幡 2-0 リーグ戦Aグループ2位
ソフトテニス(男)部	1日目個人戦:高野・蔵名 VS甲西 0-4 ● 初戦敗退 塩島・金丸 VS櫛形 3-4 ● 初戦敗退 山本・高橋 VS竜北 4-3 ○ VS押原 1-4 ● 2回戦敗退 佐々木・渡邊 VS敷島 4-3 ○ VS八田 0-4 ● 2回戦敗退 青柳・中澤 VS竜王 4-0 ○ VS櫛形 4-1 ○ 2日目へ 2日目個人戦:青柳・中澤 VS押原 0-4 ● 4回戦敗退 ベスト16 県大会出場 団体戦: VS玉幡 1-2 ● 初戦敗退
ソフトテニス(女)部	個人戦 功刀・村田 ベスト16 県大会出場 中込・小林 ベスト16 県大会出場 新海・中村 ベスト16 県大会出場 古屋・市川 2回戦敗退 杉澤・小林 2回戦敗退 団体戦 VS竜王 3-0 ○ VS押原 0-3 ● 中巨摩三位 県大会出場
バスケット(男)部	中巨摩3位・県大会出場 1日目 VS竜王北 50-38○ VS甲西 58-50○ 2日目 VS押原 67-41● VS玉穂66-28○
バスケット(女)部	準優勝・県大会出場 1日目 田富VS双葉76-17 2日目 準決勝田富VS櫛形34-25 決勝 田富VS敷島29-48
バレーボール(男)部	第1位・県大会はオープン 田富2-0若草 決勝 田富2-0敷島
バレーボール(女)部	第4位・県大会出場 1日目 田富2対0巨摩 田富2対1櫛形 2日目 準決勝 田富0対2玉穂 3決 田富1対2甲西
卓球部(男)	準優勝 1回戦 田富 3 VS 0 押原 , 2回戦 田富 3 VS 0 櫛形 , 3回戦 田富 2 VS 3 若草
卓球部(女)	優勝 県大会出場 1回戦 田富 3-0 若草 2回戦 田富 3-1 櫛形 3回戦 田富 3-0 押原
空手	鈴木雄太 5位
剣道部(男)	
陸上部(男子)	1年男子100m 2位 杉山侑希 7位 内藤流唯斗 2年男子100m 2位 上野翔悟 2年男子200m 1位 上野翔悟 6位 折居翼 1年男子800m 4位 古屋和聖 5位 山口颯斗 2年男子800m 3位 小林侑真 7位 三井瑞葵 8位 若林駿 2年男子3000m 1位 小林侑真 4位 若林駿 1年男子走高跳 1位 前田拓夢 2年男子走高跳 2位 向山結音 1年男子走幅跳 1位 杉山侑希 2年男子砲丸投 1位 北原空 1年男子4×100mR 3位 内藤 杉山 小林 前田 共通男子4×100mR 4位 折居 工藤 向山 上野
陸上部(女子)	1年女子100m 2位 佐野愛実 2年女子100m 6位 桑原愛佳 1年女子200m 5位 樋口諒 1年女子800m 7位 長坂桃音 2年女子800m 4位 平山千裕 8位 上田彩未 1年女子1500m 5位 長坂桃音 2年女子1500m 6位 平山千裕 2年女子100mH 6位 平山千裕 4位 國芳レナ 5位 佐野愛実 2年女子走幅跳 1位 吉田ジュリア 3位 相原ゆり 2年女子走幅跳 2位 田邊桃子 6位 絹山心愛 2年女子砲丸投 5位 小泉 佐野 樋口 桑原 共通女子4×100mR



シリーズ子育て談話室②～美点凝視（びてんぎょうし）とは～

我々人間は、よくないところをすぐ見つけるようにできているのだそうです。それは、動物として危険を察知する本能として身につけているということでした。考えてみると、そういう能力がないと困りますよね。少しの違和感に敏感になること、これは大切です。でも、だからといって日々の生活をすべて、この本能（よくないところをすぐに見つけて指摘する）のまま、他者と接する人がいたら、周りの人はたまったものではありませんよね。この本能のまま、他者と接する人がいたら周りの人は非常に迷惑だと思いませんか？ みなさんの上司がみなさんの悪いところばかりを指摘して叱りはじめたら・・・、考えただけでも憂鬱になりませんか？ こういうのを世間では、

あら探し名人 とか **欠点指摘型上司**

こういう人に監視されて、ぐちぐちと言われ続けたら・・・、考えただけでもぞっとしますね。

美点凝視（びてんぎょうし）の名人 とか **良いところ探しの名人**

こういう人と一緒にいて、「すごいねえ」とか「この前のあれはよくできたね」などと、「そんなところまで見ていてくれたんだ」ということまで言ってもらえると『やる気』もアップすると思いませんか？

そこで、みなさんに質問です。みなさんはお子さんに対してどちらのタイプですか？ どちらの割合が高いですか？

『欠点指摘型の親』ですか？ **『美点凝視型の親』ですか？**

欠点やできないことは、指摘してもどんどんできます。自分が思う「完璧」に自分自身がなれないのに、他人やお子さんが簡単になれるわけがありません。また、ぐちぐち言われて簡単に「完璧」になったら苦労しません。私とするとお父さんやお母さんは、是非とも子どもの美点凝視の名人であってほしいと思います。みなさんがそうであるように、みなさんのお子さんも自分の良いところを探して指摘してほしいと願っているはずです。しかも、一番身近な一番大好きなお父さん、お母さん、家族に認められているという感覚は、何事にも代えがたい大切な感覚です。

自分は愛されているんだ！ **自分は自分のままでいいんだ！**

こういう感覚です。逆に「だめだ、だめだ」と自己否定を常として育つと「どうせ俺なんか」「どうせ私なんて」と自暴自棄になり、『自尊心』がどんどんなくなり、やがてたいへんなことになってしまいます。日々のみなさんの心がけと言葉かけは、まだ柔らかく成長途上の子どもの心にストレートに影響します。お父さん、お母さんがどちらのタイプで子どもに接しているかは、実は大きな問題だと私は考えています。

「美点凝視」を意識し続けて、ちょっとした良さを見つけられる親であり、田富中の職員であることを切に願っています。私も「美点凝視」を意識して、修養を続けたいと思います。

田富中の達人に学ぶ① ～あなたは、なぜそうしたんですか？～

10月2日（金）朝9時前に、地域にお住いの（東花輪の駅の近く）方から学校へお礼の電話をいただきました。本日8時ごろ、その方は、燃えるゴミの日だったので、ゴミ袋を自転車のかごにのせ、収集場所に向かっていました。ところが、高齢であり足が痛くなる日があり、今日も足をひきながら、自転車を進めていました。そこへ通りかかった本校の女子生徒二人（3年4組 塩澤知華さん・金子実優さん）が、わざわざ戻ってきてくれ、ゴミ袋を収集場所まで運んでくれたそうです。その方は、とても幸せな気持ちになったそうです。名前を尋ねることもできなかったので、学校へ感謝の電話をしてくださいました。「今思い出しても涙が出るくらいうれしかった」と、3日朝にも学校へ連絡をいただきました。

そこで、二人にちょっと話を聞いてみました。私が「なぜ、そうしたんですか？」と尋ねると、塩澤さんは「自転車をひいていたが、足をひきずっているなど、とてもつらそうだったので、一度は通り過ぎたけれど力になりたいと思いました。」と答えてくれました。また金子さんも「二人ともそういう気持ちだったので、勇気をもって手伝うことができました。」と話してくれました。

困っている人のために勇気をもって行動をする、**優しさには「人を幸せにする力」**があることを学ばせてもらいました。

